

論文概略

論文タイトル	Usage,performance,and satisfaction outcomes for experienced users of automatic speech recognition
掲載誌名	Journal of Rehabilitation Research and Development
巻号項	Volume 41 Number 5 Page 739
出版年	2004年

支援機器	自動音声認識装置
分類(ISO9999)	22
試験相	4
研究仮説(目的) の概要	自動音声認識装置を使用している人の特徴を明らかにする
研究デザイン	群内比較(自己対照)
障害・疾患	片麻痺、神経難病、拘縮
対象者・数	障害者23人
主要アウトカム	自動音声認識装置の使用に関するアンケート
副次アウトカム1	テキスト入力率
副次アウトカム2	テキスト入力精度
副次アウトカム3	
副次アウトカム4	
副次アウトカム5	
統計学的検定	無
結果の概要	自動音声認識装置使用者の48%は作業中に自動音声認識装置を使う割合が25%以下、半分以上使用する人は37%いた。全体的な満足度は63/100点で、主な使用用途は上肢疲労を避けるためである

論文整理番号 139 ※正確な情報が必要な場合には、元の論文を確認してください。

「支援機器の臨床評価および利用効果データベース」
支援機器イノベーション創出のための情報基盤構築に関する研究
(H26～28 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 障害者対策総合研究開発事業)

国立障害者リハビリテーションセンター